

No.	所管課	事務事業名称	概 要	今年度特筆すべき事項	進捗状況	今年度における成果及び今後の予定 (左記の「進捗状況」において、「△」もしくは「×」を選択した場合は、その理由や今後の予定を記入してください。また、「○」の場合にも特記事項があれば記入してください。文体は「です・ます調」にしてください。)
100	協働推進課	コミュニティ活動推進事業	地域コミュニティの醸成に寄与し、自治と連携に支えられた心の触れ合う住みよいまちづくりを目指すため、各団体を支援します。		○	補助団体「花いっぱい運動推進委員会」に市民活動交流会への参加を促し、活動展示による参加団体の拡大に努めました。
101	協働推進課	協働のまちづくり推進事業	本市自治基本条例の理念に基づき、参加と協働を推進するため、市民により組織された「協働のまちづくり推進隊」にご協力いただき「協働のまちづくり推進指針」を平成29年度に策定します。	パブリックコメントを実施し、市民の方の意見を幅広く伺いながら、「協働のまちづくり推進指針」を策定し、概要版を全戸配布します。	○	協働のまちづくり推進隊の協力を得ながら「協働のまちづくり推進指針」を策定し、その概要版である「早わかり版」を12月に全戸配布しました。
102	協働推進課	自治組織活動等支援事業	地域コミュニティ活動の活性化や地域社会の福祉の向上と住民自治の確立に寄与するため、自治組織を支援します。	地域のコミュニティ活動や防災拠点である集会施設について、「はけ自治会」並びに「富士見台町内会」の施設整備の支援を行います。	○	はけ自治会及び富士見台町内会の集会施設は地元との協議の上建設が進み、平成30年3月に竣工しました。 来年度は光熱水費の補助率増と、修繕費補助金の創設により、集会施設の維持管理費への支援を強化します。
103	協働推進課	市民活動支援センター運営事業	2名のコーディネーターによる市民活動に関する相談や情報提供、地域活動に関する講座の開催のほか、地域課題の解決に結び付けていくための団体育成を行っていきます。		○	平成30年2月4日の「市民活動交流会2018」には昨年を上回る約630人の市民が来場し、市民活動団体同士の交流や市民参加が促進されました。
104	協働推進課	おおい祭り事業	市民による実行委員会を組織し、多くの市民の参加と協力の下で開催することにより、郷土愛を育むふるさとの祭りとして発展させ、祭りを通じて生まれる交流をまちの活性化につなげていきます。		○	来年度は、祭りの中央会場となる東久保中央公園への発電機の持ち込みを禁止し、実行委員会とともに安全安心な祭りを実施します。
105	協働推進課	国際化推進事業	増加傾向にある外国籍市民に対し、多言語による情報提供や適切な指導と助言を行う生活相談等を実施します。		○	NPO支援の一環として、今年度より庁内各課からふじみの国際交流センターへの翻訳依頼に対し予算化を行いました。
106	協働推進課	平和推進事業	平和に関する講演会等を開催するなど、平和の大切さを後世に伝えるとともに、市民の平和意識を高めるための事業を市民の意見を反映しながら実行委員会形式で実施していきます。		○	平成29年10月1日の平和祈念フェスティバル時に絵本作家いわさきちひろの作品展を同時開催し、126名の参加がありました。今後もさらなる参加者増に向けて工夫を重ねながら恒久平和を継続して発信してまいります。
107	協働推進課	生きがい推進事業	市民が地域で生き生きと活力に溢れ、生きがいを持って暮らせるようなまちづくりを推進するため、必要とされる市民力や地域力の向上を図る諸事業を展開します。	「生涯学習計画」に代わる「生きがい学習推進計画」を策定します。また、「市民カレッジふじみ野」については、「まちづくりまちおこし大学」と事業統合し、幅広い受講者を対象とした市民力の向上を図ります。	○	平成30年度を初年度とする「生きがい学習推進計画」を基に、従来事業の整理を行い、市民力、地域力の向上に向けて効果的に取り組んでまいります。
108	協働推進課	市民大学ふじみ野運営事業	「市民の学び 地域の学び 知の好循環」を基本理念に、市民による市民のための学びの場を提供します。「市民」「地域」「市民大学ふじみ野」が有機的に結合することによって、地域の課題解決に向けた人材育成を行います。	開校2年目を迎え、カリキュラムの充実と受託NPOの運営体制の強化等、全体的見直しを図ります。	○	来年度は、自治組織や包括連携協定締結校との連携を強化しながら地域力向上のための学びを強化します。
109	協働推進課	旭ふれあいセンター管理運営事業	すべての市民を対象に、市民活動に関する交流及び連携の場として旭ふれあいセンターを提供し、地域の発展と文化の向上に資するとともに、住みよい地域社会の形成を目的とします。(指定管理者制度導入)	平成29年10月の台風の際に雨漏りが発生しました。配管伝いに雨水が漏れだしたものとされます。投石によるガラスの破損が発生しました。	○	指定管理者による配管の補修以降は、雨漏りの再発は確認されておりません。 1階入り口付近のガラス破損には、警察による立ち寄り等警備を強化することで再発防止に努めます。

No.	所管課	事務事業名称	概 要	今年度特筆すべき事項	進捗状況	今年度における成果及び今後の予定
110	協働推進課	鶴ヶ岡コミュニティセンター管理運営事業	コミュニティ活動の場として鶴ヶ岡コミュニティセンターを提供し、地域の創造・発展と市民相互の交流による住みよい地域社会づくりを推進することで、福祉の増進と文化の向上を図ります。(指定管理者制度導入)	利用率が右肩上がりとなる一方で駐車場の不足によるトラブルが発生しました。	○	来年度は、隣接する七彩緑地の一部を駐車場へ転用し施設の利便性の向上と合理化を図ります。
111	協働推進課	市民交流プラザ管理運営事業	市民の幅広い活動と人とのふれあいや世代間の交流などの様々な市民交流活動を通じて、活力ある地域社会づくりを進めるためのコミュニティ施設として、市民交流プラザの管理・運営を行います。(指定管理者制度導入)	指定管理者による管理のもと、事故なく安全な施設運営がなされました。	○	現指定管理者が平成30年度をもって指定管理期間終了となることに伴い、新たな管理者の選定手続きを進めます。 空調の室内機の修繕を実施しました。
112	協働推進課	コスモスホール管理運営事業	市民の文化活動及び余暇活動その他の市民活動の促進を図り市民福祉の増進に寄与するため、コスモスホールの管理・運営を行います。(指定管理者制度導入)	指定管理者による管理のもと、事故なく安全な施設運営がなされました。	○	現指定管理者が平成30年度をもって指定管理期間終了となることに伴い、新たな管理者の選定手続きを進めます。 ふじみ野市商工会とともに、屋根及び外壁の大規模雨漏り修繕を実施します。
113	協働推進課	うれし野まちづくり会館管理運営事業	引き続き市民への有効的開放を行います。(2階NPOベース、3階集会室及び和室)		○	夏に全階で空調が故障しましたが、修繕や機器の入れ替えにより対応を済ませました。 地下駐車場のシャッター修繕も完了しました。
114	協働推進課	市民憩の森管理運営事業	市民憩の森を提供することにより、自然とのふれあいを通して、青少年の野外体験活動、地域コミュニティ及び異世代間の市民交流の推進を図ります。	施設を活用した保全活用実行委員会が、今年度から新体制での始動となります。	○	実行委員会発案の各種イベントを実施し新規委員獲得の足がかりとします。
115	文化・スポーツ振興課	学校体育施設開放事業	学校体育施設を学校教育に支障のない範囲で市民に開放しスポーツ活動の場を提供し、市民の生涯スポーツを普及しています。運営にあたっては、毎月1回、翌月分の利用を各学校ごとの学校体育施設開放運営委員会に委託し調整を行っています。		○	学校体育施設の利用者は、延べ約163,000人で昨年度に比べ1.3%増であった。スポーツ施設の充実に向けた取組として一定の効果が得られているものと考えられます。
116	文化・スポーツ振興課	スポーツ関係事業補助金	スポーツ基本法第34条の規定に基づき、市民のスポーツ振興を図るため、各種スポーツ団体が行う事業活動に要する経費の一部を要綱の定めるところにより予算の範囲内において補助金を交付する事業です。	選手派遣費補助事業では、要綱に基づき関東大会以上の出場選手へ宿泊費・旅費等を予算の範囲で補助していますが、近年ジュニア・アスリートの育成強化が進み各種大会への出場者が増えており、支援の充実が求められています。	○	スポーツ団体補助金のうちスポーツ少年団の補助金については体育協会との差が大きいことから、平成29年度予算額9万円から平成30年度予算額を14万円に増額を行ない青少年スポーツへの支援強化を図りました。 選手派遣費補助事業では、要綱に基づき関東大会以上の出場選手へ宿泊費・旅費等を予算の範囲で補助していますが、近年ジュニア・アスリートの育成強化が進み各種大会への出場者が増えており、関東大会以上では7件、全国大会以上では33件の申請に対して491,127円の補助を行いました。
117	文化・スポーツ振興課	市民スポーツ大会事業	生涯スポーツの推進と各種スポーツ競技の普及を目的に、体育協会への委託事業として、毎年8月から2月にかけて23種目の大会が加盟団体の自主運営により行われており、市とスポーツ団体による協働のまちづくりにつながっています。		○	生涯スポーツの推進と各種スポーツ競技の普及を目的に、体育協会への委託事業として、8月から3月にかけて22種目の大会が加盟団体の自主運営により行われ、延べ4,480人が参加し、市とスポーツ団体による協働のまちづくりにつながりました。

No.	所管課	事務事業名称	概 要	今年度特筆すべき事項	進捗状況	今年度における成果及び今後の予定
118	文化・スポーツ振興課	市民スポーツフェスティバル事業	市民全体で行う地域スポーツの祭典として、スポーツフェスティバルを東・西地域実行委員会（ふじみ野市自治組織連合会）に委託実施しています。町会・自治会組織が中心になることで、スポーツを通しコミュニティの推進や地域のつながりの形成に寄与しています。	今後の西地域の会場統合を視野に入れ平成29年度は、平成28年度より会場数を減らした実施の検討を実施するなど運営の効率化を進めます。	○	西地域の実行委員会では、会場数を平成28年度6会場から平成29年度3会場に統合し実施しました。さらに東西実行委員会では、平成30年度から会場を東西1ヶ所に統合していく方向で合意しています。
119	文化・スポーツ振興課	スポーツ推進事業	スポーツを通した健康づくりの推進、スポーツの楽しさに触れる機会の提供として、乳幼児から高齢者まで各世代が参加できる多様なスポーツ教室を開催するとともに、市民が自主的にその適正及び健康状態に応じてスポーツができる環境整備を進めています。	子供の頃の運動習慣が青年期のスポーツ活動参加に大きく影響を及ぼすことを踏まえ、乳幼児と保護者のスポーツ教室の充実を図るとともに、子供、障がいのある方、高齢者などのスポーツ参加の機会提供として多様なスポーツ教室を開催するなど、日常生活にスポーツ習慣づくりを進め、健康で生き生きとした生活が送れるよう市民の年齢、適正、健康状態等に応じた各教室を系統的に企画し開催します。	○	青少年スポーツの指導者を養成し地域スポーツクラブや中学校の部活動指導者への人材バンクを構築するため、ふじみ野市体育協会と共催で「指導者養成講習会」を3回開催し各回100名の参加を得ることが出来ました。包括連携協定を締結した大東文化大学教授等を講師に「スポーツのリスク管理、栄養学、効果的なトレーニング」について講義をしていただきました。また、上野台小学校地域協働学校と共催で夏休みスポーツ教室を開催し、スポーツ推進委員を講師に、パラリンピック種目の体験教室を開催し80人の参加を得ました。
120	文化・スポーツ振興課	新春ロードレース大会事業	毎年1月に市役所周辺特設コースにおいて、親子参加コース、小学生から壮年までのコース19部門11レースを開催しています。日頃の練習成果を発揮する大会として、また近年のジョギングブームの高まりから2,000人を超える申込みがあるなど、市最大のスポーツイベントであり、市民ニーズに合致した大会となっています。	市と体育協会の共催により実行委員会形式で実施していますが、市及び体育協会負担金、選手参加費の他に、市内事業所等からの協賛金、大会ネーミングライツを採用し運営費を補填するなど大会運営の充実を引き続き進めます。	○	市内最大のスポーツイベントとして、平成30年1月21日申込者数1,968人、当日はインフルエンザ等の流行により欠席者もありましたが出走者数1,686人の実績でした。今回は、包括連携協定を締結している大東文化大学陸上競技部から2名の招待選手の参加と埼玉県南西部地域振興センターから「オリンピック・パラリンピックイベントブース」の出店をいただくなど、あらたな試みとしてイベントを盛り上げることにつながりました。
121	文化・スポーツ振興課	人間地区社会体育推進事業	ふじみ野市、富士見市、三芳町の二市一町による社会体育関係職員の資質向上及び管内の生涯スポーツの充実と振興を図ることを目的に実施しています。特に昭和44年度から人間東部地区駅伝競走大会を開催し、近年の駅伝ブームもあり毎年120チームの参加があるなどニーズの高い事業となっています。	平成29年度から新たにＩＣチップを導入し計測方法を改善することで参加チーム数を増やすとともに、協賛金等の拡大を図るなど、平成29年度事務局市として円滑な運営を進めます。	○	人間東部駅伝実行委員会事務局市として、警察協議のなかで従来のコース変更、警備員の配置、ICチップ導入による予算増に対応するため、参加費のアップ、ネーミングライツの導入などあらたな課題に対応し、平成30年2月18日参加チーム99チーム、協賛企業31社、ネーミングライツ1社の協力をいただき開催までの準備を進めることが出来ました。

No.	所管課	事務事業名称	概 要	今年度特筆すべき事項	進捗状況	今年度における成果及び今後の予定
122	文化・スポーツ振興課	スポーツ施設管理運営事業	スポーツ施設の整備・充実を図るため、大井総合体育館・武道館の大規模改修工事を行い、耐震性、バリアフリー等を実施し、機能性・利便性の高い施設として市民に提供していきます。その他、市内スポーツ施設の安全・安心な施設環境を推進するとともに、施設の管理運営は指定管理者制度を活用し、運動公園スポーツ施設と一体化した効率的な管理運営を行っています。	老朽化したスポーツ施設の整備事業として、大井総合体育館・武道館大規模改修工事、武道館耐震補強工事の実施、市内2箇所の弓道場の統合・整備に向けた設計・工事、武蔵野テニスコートのクレーから人工芝化基本設計を行い、市民の元気・健康づくりに向けたスポーツ施設環境の充実を図ります。	○	大井総合体育館大規模改修工事が予定通り、平成29年9月末に完了し、同年10月14日にオープニングセレモニーを開催しました。その後は、順調に利用されている状況です。 新弓道場については、防矢ネットの高さ、土壌改良等の必要性が生じたことから、平成29年9月議会において工事費80,000千円の増額補正を行い業者選定を行いました。が、入札金額が予定価格を上回るなどの要因から、3回目の入札では弓道場の外構工事を分離仕様とした結果、業者を選定することができ、3月議会において契約議決を行いました。その結果、工事期間が半年延びることとなり、平成30年10月末完成予定、11月にオープンとなります。 武蔵野テニスコートについては、平成29年9月議会における補正予算を計上したことで前倒しで実施設計業務委託を実施し、平成30年3月に完了したことから、テニスコートの工事につきましてもは、平成30年10月末完成予定、11月にオープンとなり、新弓道場と併せてオープンすることができるとの予定です。 なお、平成29年12月議会において「スポーツセンター条例」を上程し、総合体育館を中心とするスポーツゾーンの位置付けを行うとともにスポーツ施設の一元管理に向けた整備に着手しました。 平成30年度は、新弓道場建設、弓道場外構・総合体育館駐車場整備、武蔵野テニスコート人工芝化改修工事を進め、さらにスポーツセンターとしてのスポーツゾーン整備工事を完了するとともに一元管理を進めてまいります。
123	文化・スポーツ振興課	文化振興事業	全ての市民を対象に身近な環境のなかで文化芸術に触れる機会を提供するとともに、市民の自主的な文化芸術活動を支援・推進することで活力ある地域社会の実現を目指します。市の魅力を高め、子供から大人まで気軽に参加交流できる文化イベントを開催します。	平成28年度策定した文化振興計画の重点取組である、子供の頃から質の高い文化芸術に触れる機会の提供として、学校教育や保育分野と連携し、芸術家派遣事業の実施を企画するとともに、市民と文化芸術をつなぐコーディネーターの人材育成を進めます。	○	昨年は市の取り組みであったベルリンフィル・ピアノコンサートを今年度は市内芸術家、公民館活動者・公募市民による実行委員会を立ち上げ、平成29年11月24日午後7時から大井中央公民館ホールにおいて開催しました(市協賛事業)。コンサートに係る経費はチケット収入、協賛金で運営し、来場者数490人、協賛企業・個人36件の実績を得るなど市民にも好評を得ることができました。また実行委員会からは、収入の一部が市の文化振興への活用に寄付されました。
124	文化・スポーツ振興課	ラジオ体操普及事業	元気健康都市宣言の実現に向け、市民誰もが気軽に行うことのできるスポーツとしてラジオ体操を習慣化し、健康増進の手段として市民への普及推進を図ります。	現在実施しているラジオ体操実施団体の継続を図ると共に、市内事業所との連携実施や自治組織連合会の協力を得ながら地域住民へラジオ体操の普及推進に取り組みます。希望によりラジオ体操啓発旗やCD等の提供を行います。	○	毎年、ふじみ野市共催イオン大井店夏休みラジオ体操「イオンdeラジオ体操」では、13日間3,399人に上り、昨年度に比し約150%の参加者の増となりました。また、自治組織にも呼びかけ実施参加者を募ったところ夏季期間中、5町会・自治会でラジオ体操が行われ全体で5,181人の実績となりました。
125	環境課	環境基本計画推進事業	平成29年度に終了する環境基本計画について、平成28、29年の2ヵ年で平成30年から今後10年間における計画策定を行います。	審議会に諮問、庁内検討委員会での議論、パブリックコメント等を実施し、計画策定を行います。	○	今後10年間の活動を示した第2期環境基本計画及び計画期間5年間の前期行動計画を、平成30年3月に策定しました。今後は目指す環境像「みんなではぐくむ 緑豊かな住みよいまち ふじみ野」の実現に向け、一層、市民・事業者・環境団体等との協働を推進していきます。

No.	所管課	事務事業名称	概 要	今年度特筆すべき事項	進捗状況	今年度における成果及び今後の予定
126	環境課	地球温暖化対策推進事業	平成29年度に終了する地球温暖化対策実行計画について、平成28、29年の2ヵ年で平成30年から今後10年間における計画策定を行います。	審議会に諮問、庁内検討委員会での議論、パブリックコメント等を実施し、計画策定を行います。	○	第2期環境基本計画及び前期行動計画の策定にあわせ、「地球温暖化対策の推進に関する法律」及び国が策定した「地球温暖化対策計画」、「地方公共団体実行計画策定・実施マニュアル」に基づき、市域全体と市の事務及び業務に関する温室効果ガス排出量の削減計画(地球温暖化対策実行計画)を策定しました。
127	環境課	環境啓発事業	環境フェアを通して、市民との協働及び参画、環境教育など環境に対する意識啓発を進めます。	平成29年10月21日(土)、福岡中央公園にて第13回環境フェアを実施します。	○	平成29年度は台風の影響により中止となりました。平成30年度は、10月20日(土)福岡中央公園にて、第14回環境フェアを開催します。
128	環境課	地域環境美化自主活動支援事業	地域クリーン推進員活動に基づく美化活動並びに、ポイ捨てキャンペーン等の啓発活動を実施します。		○	
129	環境課	環境調査事業	大気調査、河川等調査、騒音・振動・交通量調査、ダイオキシン類調査を実施します。		○	
130	環境課	環境衛生対策事務	市民からの様々な苦情、要望などに対し、法令などに基づき適切な対応を図り、市民の生活環境の保全に努めます。また、放射能対応も努めます。		○	
131	環境課	畜犬登録事務	狂犬病予防法に基づき、狂犬病の発生を予防し、そのまん延を防止し及びこれを撲滅することにより、公衆衛生の向上及び公共の福祉の増進します。		○	
132	環境課	入間東部地区衛生組合負担金(火葬場・斎場分)	2市1町で構成している入間東部地区衛生組合に対して、斎場・火葬場の維持・運営費用等に充てることを目的に負担金を交付します。	平成30年4月からの指定管理者を募集し、指定します。	○	平成29年12月に、平成30年4月から5年間のしののめの里の指定管理者が指定されました。 業者名：富士建設工業株式会社・有限会社戸口工業企業グループ
133	環境課	3R推進事業	焼却量の減少、リサイクルの向上など、3Rの推進を着実に実行し、環境・財政面については、処理費用の減額を教育・福祉など他の予算に結び付けられるよう、循環型社会の構築を目指します。	分別区分、収集運搬、中間処理、さらに「有料化」といった点も踏まえ、一般廃棄物処理基本計画の策定を行います。(審議会へ諮問、市民検討委員会、パブリックコメントの開催。)	○	一般廃棄物処理基本計画の策定において、廃棄物減量等推進審議会を5回、市民検討委員会を7回開催しました。パブリックコメントを実施し、3月に一般廃棄物処理基本計画(第3期)を策定しました。
134	環境課	一般廃棄物再生・処分確認事業	焼却灰やプラスチック類など処理委託を行っている委託先の現地確認、また、民間最終処分場(福井県敦賀市)の不法搬入に係る原状回復費用について、協定書を取り交わし支出を行います。		○	
135	環境課	最終処分場管理運営事業	大井武蔵野にある最終処分場から発生する浸出水の水質検査を実施し、その処理を三芳町へ委託するなど、適正な管理を行います。	最終処分場のクローズに向けた方策案の検討を上記一般廃棄物処理基本計画と併せ、実施します。	○	最終処分場のあり方については、一般廃棄物処理基本計画(第3期)の中で「廃止する」方針としました。今後は、具体的な廃止方法の検討を進めていきます。
136	環境課	入間東部地区衛生組合負担金(し尿処理分)	2市1町で構成している入間東部地区衛生組合に対して、し尿の適正処置事業の運営費用に充てることを目的に負担金を交付します。	今年度、建て替え工事が行われ、平成30年4月1日に新クリーンセンターの稼働を予定しています。	○	平成29年度、建て替え工事が行われ、平成30年4月1日から新たな浄化センターが稼働します。

No.	所管課	事務事業名称	概 要	今年度特筆すべき事項	進捗状況	今年度における成果及び今後の予定
137	環境課(環境センター)	エコパ管理運営事業	エコパの管理運営について、指定管理者に対し業務委託を行います。		○	・平成29年4月～平成30年3月までの入館者数211, 708人(月平均17, 642人)、累計入館者数742, 626人 ・今後も指定管理者と安全安心な施設管理に努めます。
138	環境課(環境センター)	上福岡清掃センター廃止事業	平成28年10月末を持って廃止したセンターを平成28、29年度の2か年で解体し、ストックヤード及び駐車場の整備を行います。	平成29年5月から50mの足場を設置し、夏に煙突の解体、年明けに駐車場70台の整備を行います。	○	平成29年12月末までに建物や煙突の解体を終了し、その後平成30年3月にはストックヤード及び駐車場の整備を終えました。
139	環境課(環境センター)	収集運搬事業	市民が分別排出された資源物、ごみを「ごみ集積所」から、環境センター(古紙問屋等を含む)まで運搬を行います。		○	
140	環境課(環境センター)	ふじみ野市・三芳町環境センター管理運営事業	ふじみ野市・三芳町環境センターでの24時間焼却業務や分別・破砕等のリサイクル作業業務、さらには環境学習や施設見学等の事業を行います。また、リサイクル家具や自転車の販売を行います。	平成29年7月15日(土)、ふじみ野市・三芳町環境センターにおいて第1回エコフェスタを開催します。	○	・平成29年4月～平成30年3月までの環境学習講座参加者数1, 113人、施設見学者数3, 707人、見学及び視察団体数68団体。 ・第1回えこらぼフェスタ来場者数5, 000人
141	環境課(環境センター)	資源物等運搬処分事業	環境センター内で発生する焼却した灰のリサイクル業務、プラスチックやビン等のリサイクル業務、ガラス、せとの等の不燃物処分業務を行っています。	東京2020大会で使用するメダルについて、携帯電話等の小型家電等から製作する「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」にふじみ野市も参加表明しました。	○	・市内各所に設置された小型家電回収ボックスから、メダルプロジェクトの対象となる小型家電等の回収を8月及び12月に行い、計153kgを収集しました。
142	産業振興課	就労相談事業	内職を希望する人に対する相談及び適切な内職あっせんを行います。また、「ふるさとハローワーク」を活用して、就職を希望する市民に職業あっせんを行います。	生活困窮者を対象とする新たな相談窓口が設置されるので、連携を図って更なる相談業務の充実を目指します。	○	内職相談に訪れた方の相談内容に応じて、適宜「ふるさとハローワーク」や「ジョブスボット」へ紹介し、連携を図りました。
143	産業振興課	勤労者福祉共済会補助金	従業員の福利厚生の実現が難しい中小規模事業所に勤務する従業員及び事業主の福利厚生の向上を支援することを目的に、「勤労者福祉共済会」へ補助金を交付します。		○	「勤労者福祉共済会」に対し補助金を交付し、会員である中小規模事業所の福利厚生の向上を支援しました。
144	産業振興課	労働推進事務	就労支援、広域的な労働行政の展開、勤労者全体の福祉の向上を図るため、福祉活動を行う労働団体に対して補助金を交付します。		○	主要労働団体に対し補助金を交付し、勤労者のための福祉の向上等に寄与しました。
145	産業振興課	労働環境支援事業	勤労者住宅資金あっせん制度の取扱金融機関への利子補給、中小企業退職金共済制度の契約を締結した事業者及び中小企業従業員の健康を確保するため健康診断を行う事業者に対する補助金を交付します。		○	各種補助制度により、勤労者の福祉の向上に努めました。
146	産業振興課	農政推進事務	農業振興の推進及び農用地の有効活用を図るため、各種負担金及び補助金を交付します。また、農業振興地域内での農業施策に関する最上位計画である「農業振興地域整備計画書」を総合的に見直します。	「農業振興地域整備計画書」の見直しにあたり、基礎資料の作成及び計画案の策定を行い、白地地域の農用地区域への編入を検討する上で必要な事項を整理します。	○	農業振興地域整備計画変更業務の委託契約を締結し、整備計画書の変更事務と平行して、農振地域の拡大に向け作業を進めました。
147	産業振興課	農政振興事業	地域農政推進対策事業として、「産業まつり」における米消費拡大や特産品開発及び地産地消等を推進するとともに、農家組合及び揚水組合、各営農団体等へ補助金を交付し、農業者の経営安定を図ります。	新たな補助制度として「農業生産改善事業補助金」を設け、農業用機械の購入費や施設の設置費へ補助金を交付します。	○	農業振興及び農業経営の支援に関する各事業について適正に執行し、優良農地の保全と地産地消の取り組みを推進しました。

No.	所管課	事務事業名称	概 要	今年度特筆すべき事項	進捗状況	今年度における成果及び今後の予定
148	産業振興課	中小企業融資事業	資金調達を必要とする事業主からの融資相談、小口融資及び中口融資のあっせんを行うとともに、市及び県（不況対策関連融資に限る）の融資を受けている対象者へ保証料補助及び利子補給を行います。		○	各種補助制度により、制度融資を受けている事業主を支援しました。
149	産業振興課	商工会補助金	市内中小企業の経営支援など、地域経済の振興・発展を目的とする非営利の公的経済団体であるふじみ野市商工会に対し、事業を支援するため補助金を交付し、連携を図りながら商工振興事業を推進します。	平成28年度に策定した「創業支援事業計画」に基づき、商工会との連携のもと創業希望者に対する支援強化を図ります。	○	新たな事業として起業家や経営者を対象とした「繁盛経営セミナー」を全4回にわたり開催したところ、80名を超える応募があり大変好評でしたので、来年度も実施することを予定しています。
150	産業振興課	商工業振興事業	自主的かつ自発的に商工業の振興に取り組もうとする商工業団体に対する支援を強化するとともに、商店街団体を対象に商店街の活性化及び環境施設・基盤整備の推進を図るため各種補助金を交付します。	県の「空き店舗ゼロプロジェクト事業」を活用し、県から派遣される地域プロデューサーとの連携のもと、空き店舗の解消に向けて取り組みます。	○	県との協同事業である「空き店舗ゼロプロジェクト」としてセミナーやワークショップを数回にわたり開催し、また店舗物件見学会を実施して空き店舗解消に向けて取り組みました。来年度も更に踏み込んだ取り組みを実施してまいります。
151	産業振興課	地域産業促進事業	地域産業に対する意識の高揚及び地元産業の振興を図る目的で「産業まつり」を開催します。また、市内産業の振興と市民の文化向上を図る目的で「産業文化センター」の指定管理者が管理運営を行います。		○	毎年恒例の「産業まつり」を開催し、大勢の来場者で賑わいました。
152	産業振興課	企業誘致推進事業	地域経済の活性化と自主財源の確保、地元雇用の拡大を図るため、企業を誘致してまいります。	「亀久保・大野原地区」において、企業誘致に向けて基盤整備を推進するため、地権者との合意形成を図ります。	○	「亀久保・大野原地区」において、地権者との合意形成が一定程度図れたので、企業立地検討委員会を開催し進出を希望する企業の誘致に向けて調整しました。
153	産業振興課	観光事業	観光資源等を活用し市内外にふじみ野市をPRします。市のPR大使である「ふじみん」及び地域ブランドとして「ふじみ野ブランド商品」を活用し、各種イベントへ参加することで市内の優れた商品や技術をアピールします。		○	PR大使『ふじみん』とともに20回を超える市内外のイベントに参加し、「ふじみんグッズ」や「ふじみ野ブランド商品」を活用して市をPRしてまいりました。
379	農業委員会	農業委員会運営事務	農地法や農業経営基盤強化促進法に基づく事務及び、農業生産力の発展、農業経営の合理化、農民の地位向上、農地の利用関係の調整をはじめ、農業全般にわたる問題を総合的に解決していくことを目的としており、毎月農業委員会総会を開催しております。		○	農業委員、農地利用適正化推進員それぞれの役割に応じて、連携をとりながら業務を進め、農業委員会の運営を適正に執行しました。

【進捗状況の判断基準】
 ○ :達成・ほぼ達成
 △ :あまり達成できなかった
 × :達成できなかった・未着手